

標記について下記のとおり報告します。

報告者 部会長 竹内 仁

日 時	2016年8月10日(水)
場 所	城陽市福祉センター 2階
出 席 者	あんびしゃ(2名)、魁(1名)、はびねす(2名)、城陽作業所(1名)、野の花(1名)、みんななかま(3名)、福祉課(1名)、自立支援協議会事務局(1名) (参加者数:12名)
欠 席 者	ナプラス(2名)、庭一造園(1名)、DIVE(1名)、宇治支援学校(1名)、就労促進授産支援ネットワーク(1名)、あつぷ(1名)
検討課題	1. 城陽市障がい者自立支援協議会 就労部会 規約の検討、2. インターンシップ受け入れ企業獲得のための案内パンフレット(修正版)提示、3. その他(他の障がい者自立支援協議会状況、情勢の共有、連絡事項等)

**【議事録】**

**1. 城陽市障がい者自立支援協議会 就労部会 規約の検討** (参考資料: 就労部会の設置に関する規約<案>)

・前回の会議を受けての就労部会事務局からの提案は第2条「担任する事務」の一部削除、第5条「部会の会議」の開催頻度、「構成員の資格」について提案。本日の部会で内容を確定し、10月に予定している全体会で報告。

**【意見交換】**

- ・「担任する事務について」
- \* 「担任する事務」の項目を一に絞るのではなく、就労にむけて具体的な支援内容も記載した方が良いのではないか。
- \* 現在取り組んでいる、インターンシップの内容を具体的に記載していく。また、定例で議論している事例発表のことも記載する。
- ・「構成員の資格」について
- \* 児童や居宅関係の事業所も記載しているが、現在の就労部会とは関わりのない事業所については省いてもいいのではないか。
- \* 現在参加している事業所名を載せ、それ以外はその他ということで記載する。

**2. インターンシップ受け入れ企業獲得のための案内パンフレット(修正版)提示** (参考資料: 城陽就労部会パンフレット案)

・前回の部会議を踏まえて、デザインも入れたパンフレットA案とB案を作成した。

**【意見交換】**

- \* 会社の方の感想欄、インターンシップに取り組んだナプラス様の感想をもっと深く聞き出して書いた方が良いと思う。
- \* 表現の仕方も大事だと思う、上から目線での言葉は避けた方が良い。
- \* 実習前に企業より希望があれば、障がいについての学習を実施する等、部会としてのフォロー体制も記載し一緒に進めていくというスタンスを強調した方が良いと思う。
- \* 障がい者の思いについても、もっと膨らませて記載した方が良いと思う。
- \* 予定していたテンポより延びているので、再度、部会事務局で整理し FAX 等で確認していく。

**3. その他(他の障がい者自立支援協議会状況、情勢の共有、連絡事項 等)**

- ・山城北圏域 就労部会報告
- \* 放課後ジョブという取り組みを検討している。企画内容は、支援学校の小学部～高等部までの職業体験。
- ・城陽市福祉課より市へのインターンシップにむけての状況報告
- \* 嘱託職員の机なら平日の4時以降で3台空くのでその机を使用することになる。
- \* 作業時間は1時間、実施回数は半年に一回か、年に一回と考えている。
- \* 作業内容は判子押し、切手貼り。特に数量は決めていないので出来るところまででよい。

**【意見交換】**

- \* インターンシップ時、誰か福祉課の職員の方が指示をしてくれるのか。
- \* インターンシップは、作業ができたことを福祉課の職員の方に報告することにも意味がある。

\*インターシップへの福祉課職員配置については、再度、福祉課内で検討。

・就労B型事業所から短期間の企業実習に行っているTさんの報告。

\*今まで貰ったことのない給料の額となり働く意欲もかわってくる、頑張っている。企業就労は初めてなので精神的フォローは必要と考えているので、実績のある事業所からアドバイスをお願いしたい。

・次回の就労部会にむけて①インターンシップパンフレットの最終確認、②各事業所の取り組み発表（あっぷくスライド）③その他

※配布資料添付のこと

次回開催日：2016年10月12日